尼崎市 Amagasaki City

令和８年（2026 年）10 月 27 日		
所　属	危機管理安全局企画管理課	災害対策課
所属長	森本　仁信	清水　計秀
電　話	06－6489－6564	06-6489-6165

防災服のリニューアル等の実施について

1　防災服をリニューアルします

⑴　趣旨

近年の気候変動などにより、災害の激甚化や熱中症リスクが高まる中、現代の災害対応に求められる機能性の確保と対外的な視認性の向上を図るため、昭和 40 年代の導入以降初めて防災服をリニューアルします。

⑵　新防災服の概要

▼対象者

課長級以上の職員及び災害対策本部総括部総括班員

▼購入数

450 着

▼メーカー

ミズノ株式会社製（エコマーク認定）

▼主な変更点

デザイン面：市名を胸・背中に明示し、対外的な視認性を向上

機能面　　：立体的仕様パターンの使用による動きやすさを確保

⑶　今後の予定

リニューアルされた防災服については、11 月 28 日（土）に実施する防災総合訓練において、着用する予定です。

旧防災服



（表）　（裏）

新防災服



（表）　（裏）

市名（表）



市名（裏）



２　令和８年度尼崎市防災総合訓練（市制 110 周年記念事業）を実施します

⑴　訓練目的

大規模災害時における災害対応力向上のため、南海トラフ巨大地震を想定し、関係機関との連携協力及び受援体制の強化並びに市民の防災意識の醸成を図ること。

⑵　実施日時・場所

日時：令和８年（2026 年）11 月 28 日(土)　午前９時 50 分から午後１時まで

場所：尼崎市立中央中学校

⑶　３つのポイント

ア　見て・知って・体験する防災

実動訓練や展示・体験を通じ 自助・共助の防災意識を高める。

イ　広域連携の強化

兵庫県・阪神地域合同防災訓練の地区会場として、他都市、関係機関等との広域的な連携を強化する。

ウ　市制 110 周年記念事業

幅広い世代に来場いただき、防災を身近に感じてもらう。

⑷　実施事項

ア　実動訓練

・地方公共団体間の広域応援・受援訓練の実施

・国・県からのプッシュ支援を想定し、協定事業者と協力した物資の調達・輸送訓練

・尼崎市社会福祉連絡協議会による災害ボランティアと連携した訓練　等

イ　防災展示

・パーティションの展示等の防災用品・資機材等の展示

・ペット防災・住宅の耐震化模型等の災害への備えや関係機関の取組の啓発

・応急手当・煙避難・防災食の試食等の体験

３　避難所の環境改善について（令和８年度９月補正予算）

生活環境の向上やプライバシー等の確保などに必要な資機材を整備することで、避難所の環境改善を図るため、地域の防災力向上事業費として計 73,710 千円を９月議会にて補正計上しました。

▼整備する資機材

・災害用ベッド　2,350 床

・パーティション　960 張

・水循環型シャワー　２セット



災害用ベッドイメージ



パーティションイメージ



水循環型シャワーイメージ

以　上

1.防災服をリニューアルします

趣旨

近年の気候変動などにより、災害の激甚化や熱中症リスクが高まる中、現代の災害対応に求められる機能性の確保と対外的な視認性の向上を図るため、昭和40年代の導入以降初めて防災服をリニューアルする。

対象者

▶ 課長級以上の職員及び災害対策本部 総括部 総括班員

今後の予定

▶ 令和8年11月28日（土）実施の防災総合訓練にて、一部先行して着用開始

▶ 令和8年度中に全対象者へ配備

1.防災服をリニューアルします

旧防災服



（表）　（裏）

新防災服



（表）　（裏）

市名（表）



市名（裏）



防災服の概要

- 450着購入
- ミズノ社製
- エコマーク認定※

※ライフサイクル全体で環境負荷が少ないと認められた製品・サービス

機能性の確保

- 耐久性
- 通気性
- 動きやすさ
- 静電気帯電防止

視認性の向上

- 色はネイビー×ブルー（下衣はネイビー）
- 市名を胸、背中に大きく明示
- 市名に再帰反射シートを利用
- 漢字とローマ字を併記

2. 令和8年度尼崎市防災総合訓練（市制110周年記念事業）を実施します

訓練目的　大規模災害時における災害対応力向上のため、関係機関との連携協力及び受援体制の強化並びに市民の防災意識の醸成を図ること。

日時　令和8年11月28日（土）午前９時50分から午後１時まで

場所　尼崎市立中央中学校

想定　南海トラフ巨大地震

３つのポイント

・見て・知って・体験する防災

実動訓練や展示・体験を通じ 自助・共助の防災意識を高める。

・広域連携の強化

兵庫県・阪神地域合同防災訓練の地区会場として、他都市、関係機関等との広域的な連携を強化する。

・市制110周年記念事業

幅広い世代に来場いただき、防災を身近に感じてもらう



訓練の様子

2.令和8年度尼崎市防災総合訓練（市制110周年記念事業）を実施します

実動訓練　屋外で行う訓練

情報収集・発信／災害広報訓練
災害情報を集め災害対策本部に共有

交通応急対応訓練
道路の障害物を除去する

広域避難訓練
宝塚市の避難所への広域避難

救助・救出訓練／応急救護訓練
自衛隊・警察等と連携し、
救出・救護を行う

災害ボランティア訓練
災害ボランティアと連携し被災者支援を円滑に行う

応急給水訓練
断水を想定し給水活動を実施

物資輸送・受入訓練
兵庫県から輸送された支援物資を受け入れる

火災対応訓練
地震後の火災に対して放水を行う。



情報収集・発信訓練


救助・救出訓練


広域避難訓練


物資輸送・受入訓練

市民・高校生・事業者・関係機関・行政が交流しながら、防災を学ぶ機会に。

2.令和8年度尼崎市防災総合訓練（市制110周年記念事業）を実施します

防災展示　見て・知って・体験する防災

見る　防災用品・資機材等の展示

◆ パーティション・災害時持ち出し品・EV車　等



パーティションの展示



災害対応ロボットの展示

知る　災害への備えや関係機関の取組を知る

◆ ペット防災・住宅の耐震化模型・感震ブレーカー　等



感震ブレーカーの普及啓発



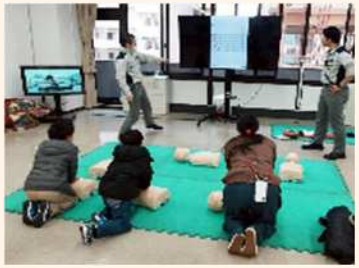
高校生による防災啓発

体験する　避難所用資機材、応急手当などを体験

◆ 応急手当・煙避難・防災食の試食・段ボールベッド 等



避難所資機材の体験



応急手当の体験

市民・高校生・事業者・関係機関・行政が交流しながら、防災を学ぶ機会に。

3.避難所の環境改善について（令和8年度9月補正予算）

趣旨

生活環境の向上やプライバシー等の確保などに必要な資機材を整備することで、避難所の環境改善を図る。

- 災害用ベッド、パーティション及び水循環型シャワーを整備
- 「1.17は忘れない」地域防災訓練において避難所運営訓練を実施

○ 地域の防災力向上事業費：73,710千円

避難所の環境改善

01 生活環境の向上

災害用ベッドを
2,350床備蓄拡充



イメージ

02 プライバシー等の確保

パーティションを960張備蓄拡充



イメージ

03 入浴環境の整備

水循環型シャワーを2セット整備



イメージ